








キーワード: 国際法

このリストに掲載されている資料は、**社会科学系図書館開架室 KULiPコーナー**に配架してあります。
[]内の英数字をOPACに入力すると、該当資料のみを検索できます。

参考図書

- International law / Malcolm N. Shaw Cambridge University Press, 2017.
国際法の教科書の定番(最新版)。まずは、興味のある章を読んでみよう。

[BB24561783]
- Landmark cases in public international law / edited by Eirik Bjorge and Cameron Miles Hart, 2017.
国際法の発展の中で重要な役割を果たした22の事例が扱われている。日本の判例集と読み比べてみよう。

[BB25682659]
- International law as a belief system / Jean d'Aspremont Cambridge University Press, 2018.
ジェネラリストを自認する著者が提示する新しい国際法の見方。

[BB24996571]
- "Contribution of International Human Rights Law to the Institutionalization of International Law" / Yozo Yokota. *Réciprocité et universalité : sources et régimes du droit international des droits de l'homme : mélanges en l'honneur du professeur Emmanuel Decaux* Editions Pedone, 2017.
国際人権法は、国際法の分野としては新しく、また、伝統的な国際法の枠組みでは説明できない部分を多く含んでいる。そのような国際人権法が、国際法全体に与えた影響はどのようなものか。

[BB25484939]
- The UN security council and domestic actors : distance in international law / Machiko Kanetake Routledge, 2018.
かつて国際機構を巡る国際法上の問題は、もっぱらその構成国との関係において提起されてきた。しかし今日、国際機構と個人をはじめとする非国家アクターの間の関係を規律する法について考えなければならない事例が数多くみられる。

[BB25160471]
- Is international law international? / Anthea Roberts Oxford University Press, 2017.
国際法とは国家間の法であり、どの国からみても同一のもののはずであるが、実際にはそうでないということは大なり小なり誰もが感じている。この難しい問題取り組んだ一冊。日本というアジアの島国で国際法を研究、実践することの意義を考えてほしい。

[BB24890504]
- The international legal order : current needs and possible responses : essays in honour of Djamchid Momtaz / edited by James Crawford ... [et al.] Brill Nijhoff, 2017.
国際法が現在直面している様々な問題が扱われている。一つ一つの論文が短いので、気になったものからどんどん手を付けてほしい。

[BB23942271]

- The peaceful settlement of international disputes / Yoshifumi Tanaka Cambridge University Press, 2018.

国際法における紛争解決について、多様な手続を扱いつつも、わかりやすく解説されている。



[BB25435547]

- International law and religion : historical and contemporary perspectives / edited by Martti Koskeniemi, Mónica García-Salmones Rovira and Paolo Amorosa Oxford University Press, 2017.

国際法に限らず、宗教が法(学)に与えた影響は大きい。が今日、国際法は通常宗教とは切り離して論じられる。両者の関係はどのように理解できるだろうか。



[BB25068672]

- Oppenheim's international law : United Nations / Dame Rosalyn Higgins ... [et al.] Oxford University Press, 2017.

国連を巡る実行や法を網羅的に扱った最新のかつ権威ある書籍。国連に関連するテーマに興味をもったならば、まずは本書の関連部分を一通り読んでみよう。



[BB24802063]

- The Oxford handbook on the sources of international law / edited by Samantha Besson and Jean D'Aspremont ; with the assistance of Sévrine Knuchel Oxford University Press, 2017.

法源論を巡る議論は多種多様で無数に存在するため、全体像を把握することは容易ではない。ゆえにこのハンドブックはきわめて有用である。どのようなテーマで研究するにせよ、法源論の基本的知識(および全体像の把握)は不可欠である。



[BB24870529]